

記載例集

目次

(様式)

1.	様式第1号 補助金等交付申請書	P.1
2.	様式第2号 事業計画書(事業補助金)	P.2
3.	様式第2号の2 予算書(事業補助金)	P.3
4.	様式第2号の3 予算書の支出の部の内訳(事業補助金)	P.4
5.	様式第3号 補助金等交付指令書	P.5
6.	様式第4号 事業計画変更承認申請書	P.6
7.	様式第4号の2 補助事業計画変更承認通知書	P.7
8.	様式第5号 事業施行状況報告書	P.8
9.	様式第6号 補助金等実績報告書	P.9
10.	様式第6号の2 補助事業等の実績書	P.10
11.	様式第6号の3 補助事業等の収支決算書(事業補助金)	P.11
12.	様式第6号の4 補助事業等の支出の部の内訳(事業補助金)	P.12
13.	様式第7号 補助金等確定指令書	P.13
14.	様式第2号 事業計画書(団体運営補助金)	P.14
15.	様式第2号の2 予算書(団体運営補助金)	P.15
16.	様式第2号の3 予算書の支出の部の内訳(団体運営補助金)	P.16
17.	様式第6号の3 補助事業等の収支決算書(団体運営補助金)	P.17
18.	様式第6号の4 補助事業等の支出の部の内訳(団体運営補助金)	P.18

(その他)

19.	交付決定起案時 別紙記載例	P.19
20.	実績確定起案時 別紙記載例	P.20
21.	領収書見本例	P.21
22.	補助事業履行確認報告書	P.22
23.	補助金等交付基準適合チェック表(交付申請時使用例)	P.23
24.	補助金等交付基準適合チェック表(実績報告時使用例)	P.24

様式第1号（第5条関係）

平成●●年 5月 6日

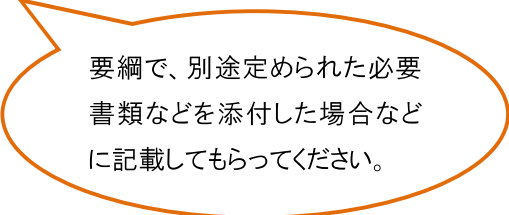
富田林市長 様

申請者 住所 **富田林市常盤町××番地**
氏名又は名称 **とっぴーまつり実行委員会**
富田 林太郎 印

補助金等交付申請書

下記の補助金について、次のとおり補助金等の交付を受けたいので富田林市補助金等交付規則第5条の規定に基づき、関係書類を添えて申請します。

(単位：円)

補助年度	●●年度
補助金の名称	市の魅力発信事業補助金
(事業の名称)	とっぴーまつり開催事業
補助金等交付申請額	100,000円
添付書類一覧	<ul style="list-style-type: none">・企画書・開催予定場所の地図 

事業の名称	とっぴーまつり開催事業	イベントなどの場合、実施日と、準備、後始末の期間も含めたものが事業の期間です。
事業の期間 （予定）	平成●●年6月10日～平成●●年11月30日 （開催予定日…11月3日）	
事業費 （予算書）	様式第2号の2及び様式第2号の3に記載のとおり。	
事業の目的	本市の特産物や民・工芸品のPR 各補助要綱の支出目的に沿うように記載。	
事業の内容 （予定）	開催予定日：平成●●年11月3日 場所：津々山台公園及び、りぼんどおり周辺 時間：11:00から16:00ごろ 府内のキャラクターを集め、公園内、周辺遊歩道で、ゆるキャラ行列、握手会を行う。津々山台公園りぼんどおりで、特産物販売の実施。 主なイベントなどの内容や、準備期間中の作業なども記載してください。	
事業の成果 （見込み）	市のイメージキャラクター「とっぴー」を活用し、様々なイベントを開催することで市内外からの集客し、市の特産物や民・工芸品の販売等を通じて市の魅力をアピールしながら、知名度・売上の向上を図る。 「事業の目的」に記載した内容が、事業実施によって、どのように効果があるかの見込みを記載してください。	

様式第2号の2（第5条関係）

（事業補助金記載例）

予 算 書

収入の部

（単位：円）

項 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減 (A) - (B)	内 訳
フリマ出店料	20.000		20.000	20店舗×1.000円
協賛金（パンフ掲載）	40.000		40.000	40件×1000円
市民協賛金	50.000		50.000	
市補助金	100.000		100.000	
合 計	210.000		210.000	

支出の部

（単位：円）

項 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減 (A) - (B)	内 訳
需用費	179.000		179.000	様式2号の3に 記載のとおり
役務費	31.000		31.000	
合 計	210.000		210.000	

なるべく、市の予算費目に合わせるよう指導してください。

同額になるように

様式第2号の3（第5条関係）

（事業補助金記載例）
 予算書の支出の部の内訳

様式第2号の2の支出の部の項目の具体的な内容記載します。

項目	予算額	内訳（積算）		補助対象経費
需用費	179,000	チラシ印刷 @7×1,000部	7,000	7,000
		消耗品代（紙、ガムテープなど）	62,000	62,000
		食糧費（会議お茶代）	10,000	対象外
		看板代 @10,000×10枚	100,000	100,000
役務費	31,000	資料郵送代 @80×100件	8,000	8,000
		振込み手数料	1,000	1,000
		施設借上げ料（会議室借上げ）	10,000	10,000
		活動保険料（200人×60円）	12,000	12,000
合計	210,000		210,000	200,000

様式第2号の2の項目に合わせる。

内訳の合計額と一致。

慶弔費、食糧費（飲食代）、親睦旅行費など、公金としてふさわしくない支出は、補助対象経費に含まれません。

出来るだけ詳しく記入願います。

とっぴーまつり実行委員会

富田 林太郎

様

申請者の名称は、様式のすべてを通じて、同じ書き方です。
見積書、請求書、領収書なども同じ名称で作成します。

富田林市長 多田 利喜 ⑩

補助金等交付指令書

交付申請書を受付けた日

平成●●年 5月 6日付けで交付申請のあった下記の補助金については、富田林市補助金等交付規則第6条第1項の規定に基づき審査し、同条第2項の規定に基づき次のとおり交付決定します。

様式2号

なお、事業の内容及び事業費は事業計画書のとおりとし、これに変更が生じるときは第7条の規定に基づき事業計画変更承認申請書を提出し市長の承認を受けてください。

様式4号。

様式2号に記載した内容(期間や、規模、事業予定の大幅な変更)に変更がある場合、提出が必要。

補助年度	平成 ●● 年度
補助金の名称	市の魅力発信事業補助金
(事業の名称)	とっぴーまつり開催事業
補助金等交付決定額	100,000円
第6条第2項により付した条件	天候等による、やむを得ない事情により事業を中止した場合には、事前準備等経費が発生したもののみを補助対象とする。

交付にあたり、条件や注意することなどを記載します。

様式第4号（第7条関係）

平成●●年7月3日

富田林市長 様

申請者 住所 **富田林市常盤町××番地**

氏名又は名称 **とっぴーまつり実行委員会**

富田 林太郎 印

様式2号に記載した内容(期間や、規模、事業予定の大幅な変更)に変更がある場合、提出が必要。

※マニュアル P16 参照。

事業計画変更承認申請書

下記の補助金について、事業計画を次のとおり変更したいので、富田林市補助金等交付規則第7条の規定に基づき、関係書類を添えて申請します。

(単位：円)

補助年度	平成●●年度
補助金の名称	市の魅力発信事業補助金
(事業の名称)	とっぴーまつり開催事業
交付決定	平成●●年5月30日 富行管第△△△号
変更の理由	関係メディアでの紹介により、来場者予測を上方修正したため。
変更の内容	上記理由により、案内看板の増設を行うに当たり、事業費が増額したため、申請補助額を変更する。 (当初申請額 100,000 円 → 変更後 110,000 円)

様式第4号の2（第7条関係）

富行管 第〇〇号
平成〇〇年 7月 20日

とっぴーまつり実行委員会 様

富田林市長 多田 利喜

補助事業計画変更承認通知書

平成●●年 7月 3日付けで変更承認申請のあった事業計画については、富田林市補助金等交付規則第7条第2項の規定に基づき、次のとおり承認いたしましたので通知します。

(単位：円)

補助年度	平成●●年度
補助金の名称	市の魅力発信事業補助金
(補助事業の名称)	とっぴーまつり開催事業
交付決定	平成●●年 5月 30日 富行管第 △△△ 号
変更補助金額	110,000円(変更前 100,000円)
変更の内容	来場者予測の上方修正による、案内看板の増設に伴う補助申請額の増加。
指示事項等	

様式第5号（第8条関係）

平成●●年9月30日

富田林市長 様

交付決定後、変更申請が出された場合や、概算払いしている事業の進捗を正式に求める場合など、必要があれば提出してもらいます。

申請者 住所 **富田林市常盤町××番地**
氏名又は名称 **とっぴーまつり実行委員会**
富田 林太郎 印

事業施行状況報告書

下記の補助事業について、富田林市補助金等交付規則第8条の規定に基づき、事業の施行状況を次のとおり報告します。

事業の名称	とっぴーまつり開催事業
施行状況	実行委員会を組織し、広告作成、フリーマーケット参加者募集を実施済み。問い合わせ状況等参加予定者の増加が見込まれるため、警備計画等を見直し済。実行委員会を部会ごとに、各部で会議打ち合わせを実施し、予定通り、順調に準備を進めている。

様式第6号（第9条関係）

補助金等実績報告書

平成●●年 12月 10日

富田林市長 様

住 所 **富田林市常盤町××番地**
申請者 団体名及び **とっぴーまつり実行委員会**
代表者氏名 **富田 林太郎 印**

補助事業名称 とっぴーまつり開催 事業

平成●●年5月30日付 富行管第△△△号をもって補助金等の交付の決定を受けた上記の補助事業等は、**平成●●年11月30日**完了したので、富田林市補助金等交付規則第9条の規定に基づき、関係書類を添えて報告します。

補助年度	平成●●年度
補助金交付決定通知額	100,000円 (変更後 110,000円)
補助金領収金額	50,000円
補助金領収未済額	60,000円

様式第6号の2(第9条関係)

補助事業等の実績書

交付申請時の事業期間
などが、変更申請により変
更になっている場合、その
内容にあわせること。

名 称	とっぴーまつり開催 事業
事業(開催)期日	平成●●年6月10日～平成●●年11月30日 (平成●●年11月3日実施)
事業(開催)場所	津々山台公園及びりほんどおり周辺
事業者・開催者	とっぴーまつり実行委員会
構成(参加)人数	約1,100人
補助事業等の内容	開催日：平成●●年11月3日 場所：津々山台公園及び、りほんどおり周辺 時間：11:00から16:00 府内のキャラクターを集め、公園内、周辺遊歩道で、ゆるキャラ行列、握手会を行う。津々山台公園りほんどおりで、特産物販売の実施。
補助事業等の実施による効果	今話題のゆるキャラを題材にしたイベントで、また広範囲に宣伝を行ったことで市内外から多くの来場者があった。また、地域から多くの参加者(出店者)にも恵まれ、富田林ブランドをはじめとする市の特産物や民・工芸品のPRができた。 事業目的に合った効果 があらわれたかどうか記 載してください。
備考	

補助事業等の収支決算書

収入の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額 (A)	本年度決算額 (B)	増減 (B) - (A)	内 訳
フリマ出店料	20.000	20.000	0	20店舗×1000円
協賛金 (パンフ掲載)	50.000	50.000	0	50件×1000円
市民協賛金 (寄附等)	50.000	42.480	▲ 7.520	
市補助金	110.000	110.000	0	変更申請あり
合 計	230.000	222.480	▲ 7.520	

変更届などで、予算額を変更している場合は、変更承認後の額を記載してください。

支出の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額 (A)	本年度決算額 (B)	増減 (B) - (A)	内 訳
需用費	199.000	190.700	▲ 8.300	様式第6号の4に記載のとおり
役務費	31.000	31.780	780	
合 計	230.000	222.480	▲ 7.520	

差し引き収支額 **0**

上記のとおり相違ないことを証明します。

富田 林太郎 (印)

補助事業等の支出の部の内訳

(単位：円)

項目	決算額	内 訳 (積算)		補助対象経費
需用費	190.700	チラシ印刷 @7×1,000部	7.000	7.000
		消耗品(紙、ガムテープ、荷造りひもなど)	41.280	41.280
		食糧費(会議お茶等代金)	2.420	対象外
		看板代 @10,000×14枚	140.000	140.000
役務費	31.780	資料郵送料 @80×110件	8.800	8.800
		振込み手数料(8件分)	980	980
		施設借上げ料(会議室借上げ等) @1,000×10回	10,000	10,000
		活動保険料 200人×60円	12,000	12,000
合 計	222.480		222.480	220.060

審査の際には、必ず領収書を確認してください。

<領収書について>

- ・物品の購入の際には、補助対象額が把握しやすいよう、領収書を分割してもらうことも必要です。
- ・領収書は、誰が、何を、購入したのかを明確にするものです。宛名が申請者になっているか、項目等が抜けていないか確認が必要です。
- ・振込みで支払ったものも、必ず領収書をもらってください。
- ・領収書が徴収できない場合(ATMによる物品支払いの振込み手数料など)は、通帳に記載された部分のコピーなどを確認してください。
- ・領収書の見本を添付していますので、参考にして下さい。

注：領収書（コピー）を添付してください。
出来るだけ詳しく記入願います。

様式第7号（第10条関係）

富行管 第 △×● 号
平成●●年12月25日

とっぴーまつり実行委員会
富田 林太郎 様

富田林市長 多田 利喜 ⑩

補助金等確定指令書

平成●●年12月10日付けで事業実績報告書の提出があった下記の補助金については、富田林市補助金等交付規則第10条第1項の規定に基づき審査し、次のとおり交付額を確定します。

補助年度	平成●●年度
補助金の名称	市の魅力発信事業補助金
(事業の名称)	とっぴーまつり開催事業
補助金等交付確定額	110,000円
備考	この確定指令書を受領後速やかに、振込口座を記載した補助金振込み請求書を提出してください。請求書に指定された口座への振込み日は、別途通知いたします。

注意事項や特記事項
があれば記載してくだ
さい。

事業の名称	総合計画推進市民協議会育成事業
事業の期間 (予定)	平成●●年4月1日～平成〇〇年3月31日
事業費 (予算書)	様式第2号の2及び様式第2号の3に記載のとおり。
事業の目的	<p>富田林市第4次総合計画の理念を市民に広く周知するためのイベントの企画や、啓発パンフレットの作製などで、総合計画の「3つのしくみ」の実施のための、市民と行政の橋渡しのための市民側の仕掛けづくりを進めて行ってもらうため。</p> <p>市の施策に貢献する事業目的が書かれるよう、指導してください。</p>
事業の内容 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画の理念を市民全般に分かりやすく伝えるための様々な仕掛けを作る団体として、市内での活動を行う。 ・啓発パンフレットの作成 ・大学生による、漫画版市民啓発パンフの作成 ・講演、ミニイベントなどの実施 ・地域団体への啓発講座の実施 ・WEBサイト開設による「しくみづくり」啓発のサイトの立ち上げ <p>具体的な内容を詳しく書き込めているか確認</p>
事業の成果 (見込み)	<p>市民になじみのない「総合計画」や「しくみづくり」「市民協働」などを分かりやすく伝えることで、今後展開していかなければならない、地域分権を進めるための仕掛けづくりとなる団体を育成する。</p> <p>「事業の目的」に記載した内容が、事業実施によって、どのように効果があるかの見込みを記載してください。</p>

団体運営補助金の記載例

様式第2号の2（第5条関係）

（団体運営補助記載例）

予 算 書

収入の部

（単位：円）

項 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減 (A) - (B)	内 訳
市補助金	105,000	100,000	5,000	
繰越金	10,000	20,000	▲ 10,000	前年度剰余金 (2,000円) 3月分電気代 (8,000円)
合 計	115,000	120,000	▲ 5,000	

予算の内訳となる、積算根拠や、予算の算出式が記載されているかどうかを確認してください。

用途の決まっていない剰余的な繰越金（上記の場合2,000円）が、補助金額を超えている場合には、補助金支出を見合わせるようになりますので、繰越金の用途を確認してください。また、金額の多寡に係わらず繰越金が発生する場合は用途内訳を「内訳欄」に記載してください。

支出の部

（単位：円）

項 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減 (A) - (B)	内 訳
需用費	63,000	65,000	▲ 2,000	様式2号の3に記載のとおり
役務費	16,000	20,000	▲ 4,000	
使用料	36,000	35,000	1,000	
合 計	115,000	120,000	▲ 5,000	

なるべく、市の予算費目に合わせるよう指導してください。

同額になるように

団体運営補助金の記載例

様式第2号の3 (第5条関係)

(団体運営補助記載例)
 予算書の支出の部の内訳

(単位：円)

項目	予算額	内 訳 (積算)		補助対象経費
需用費	63.000	事務消耗品代 (紙、ガムテープなど)	27.000	27.000
		事務所光熱水費	36.000	36.000
役務費	16.000	電話・FAX代	16.000	16.000
使用料	36.000	会議室・備品等使用料 (3回分×12000)	36.000	36.000
合 計	115.000		115.000	115.000

様式第2号の2の支出の部の項目の具体的な内容記載します。

なるべく詳細に

様式第2号の2の項目にあわせる。

慶弔費、食糧費(飲食代)、親睦旅行費など、公金としてふさわしくない支出は、補助対象経費に含まれません。

団体運営補助金の記載例

出来るだけ詳しく記入願います。

団体運営補助金の記載例

補助事業等の収支決算書

収入の部

(単位:円)

項目	本年度予算額 (A)	本年度決算額 (B)	増減 (B) - (A)	内 訳
市補助金	105,000	105,000		
繰越金	10,000	10,000		
合計	115,000	115,000		

年月日	摘要	お支払い金額	お預り金額	差引残高
22-2-25	1月分 電気	1256		26613
22-3-1	××		6580	33193
22-3-24	2月分 電気	1056		32137
22-3-25	△△	5890		26247
22-3-27	3月分 電気	368		25879
22-3-29	△△	5890		19989
22-3-31	●●	10000		9989
22-4-1	利息		11	10000
22-5-19	シブシブサシシウエホサ?		105000	115000
22-10-15	●●			96250
22-10-25	9月分 電気	569		95681
22-11-5	△△		230	95911
22-12-6	××	5600		90311
22-12-14	●●		123	90434

年月日	摘要	お支払い金額	お預り金額	差引残高
23-1-10	●●		2580	93014
23-1-25	12月分 電気	1569		91445
23-1-30	××	8995		82450
23-1-31	△△		3658	86108
23-2-2	●●	12540		73568
23-2-12	△△	11580		61988
23-2-14	△△	26980		35008
23-2-25	1月分 電気	2658		32350
23-2-26	××		258	32608
23-2-28	●●		2980	35588
23-3-8	△△	25898		9690
23-3-19	××	1580		8110
23-3-26	2月分 電気	3658		4452
23-4-2	△△		333	4785

前年度繰越金のコピーする場所

概算払いで支払

差引収支額のコピーする場所

支出の部

(単位:円)

項目	本年度予算額 (A)	本年度決算額 (B)	増減 (B) - (A)	内 訳
需用費 (事務用品等)	63,000	59,011	▲ 3,989	様式第6号の4に記載のとおり
役員費	16,000	15,024	▲ 976	
使用料	36,000	36,180	180	
合計	115,000	110,215	▲ 4,785	

剰余金の有無や、剰余金の内容を申請者に確認し、交付確定起家時の「別紙」に剰余金の有無、繰越金となる場合のその用途などを記載してください。用途の決まっていない剰余的な繰越金が補助金額を上回る場合、次年度の補助金支出を見合わせる事となります。※「別紙」記載例参照。

この欄に、0円より大きい金額が発生した場合は剰余金です。剰余金が繰越金となる場合、その理由を確認してください。

差し引き収支額 **4,785**

上記のとおり相違ないことを証明します。

富田 林太郎 (印)

団体運営補助金の記載例

補助事業等の支出の部の内訳

(単位：円)

項目	決算額	内 訳 (積算)	補助対象経費
需用費	59,011	事務所光熱水費	39,801
		消耗品代 (紙、ガムテープ、荷造りひもなど)	16,860
		食糧費 (会議お茶等代金)	2,350
役務費	15,024	電気、FAX代	15,024
使用料	36,180	会議室・備品等使用料@2,000×10回 (5/21、6/3、7/20、8/19、9/3、 10/6、11/3、12/12、1/25、 2/12) 実施集会所)	20,000
		コピー使用料 (7290枚×@2)	14,580
		活動保険料 10人×160円	1,600
審査の際には、必ず領収書を確認してください。			
<領収書について>			
・物品の購入の際には、補助対象額が把握しやすいよう、領収書を分割してもらうことも必要です。			
・領収書は、誰が、何を、購入したのかを明確にするものです。宛名が申請者になっているか、項目等が抜けていないか確認が必要です。			
・振込みで支払ったものも、必ず領収書をもってください。			
・領収書が徴収できない場合(ATMによる物品支払いの振込み手数料など)は、通帳に記載された部分のコピーなどを確認してください。			
・領収書の見本を添付していますので、参考にして下さい。			
合 計	110,215		110,215
			107,865

注：領収書 (コピー) を添付してください。
出来るだけ詳しく記入願います。

交付決定起案別紙

要綱がなく補助金交付規則に基づく場合はその旨記載してください。

● 要綱等の名称	市の魅力発信事業補助金交付要綱	
● 補助金種別	奨励的事業費補助	
● 補助事業名称	とっぴーまつり開催事業	事業実施日だけでなく、前後の準備や整理期間を含めます。団体運営を補助する場合は年間を補助対象期間とする場合が多い。
● 申請団体名称	とっぴーまつり実行委員会	
● 事業期間	平成●●年6月10日 から 平成●●年11月30日	
● 補助事業の概略	11月3日(11:00~16:00)に、津々山台公園にてとっぴーまつりを開催。内容としては、府内のキャラクターを集め、公園内、周辺遊歩道で、ゆるキャラ行列、握手会を行うほか、津々山台公園りぼんどおりで、フリーマーケットを開催。	
● 補助の目的	イベントの開催等により市の魅力発信を積極的に行い、もって交流人口等の増加とともに、地域の活性化を図る。	
● 補助の内容(要綱上の対象経費)	市の魅力発信に繋がるイベント実施費用のうち、委託料、印刷製本費等の経費の一部補助	
● 予算事業名称	とっぴーまつり開催事業 (事業番号 123456)	
● 予算費目	(款) ●●費 (項) ●●費 (目) ●●費 (節) 負担金、補助及び交付金 (細節) その他 (説明) とっぴーまつり開催事業	
● 予算残額	1,000,000 円 (※負担行為前金額)	
● 補助予定金額	100,000 円	補助金額について、算出式を記載し、要綱上の考え方も示しながら記載してください。
● 算出根拠	対象となる事業経費(20万円)×1/2=100,000円(千円未満切捨て)と上限15万円のどちらか少ない方(要綱第●条関係)	
● 支払予定(概算払いの有無)	概算払いする場合は、■への支払いを行うのに、●月までに、▲円が必要となるため等その理由を記載してください。 ①平成○年8月20日(予定)…5万円(イベント実施日に係る委託料の支払いのため) ②残額の5万円については、実績報告後金額確定後支払い	

交付確定起案別紙

● 要綱名称	市の魅力発信事業補助金交付要綱	
● 補助金種別	奨励的事業費補助	
● 補助事業名称	とっぴーまつり開催事業	
● 申請団体名称	とっぴーまつり実行委員会	
● 事業期間	平成●●年6月10日 から 平成●●年11月30日	
● 補助事業の概略	11月3日(11:00~16:00)に、津々山台公園にてとっぴーまつりを開催。内容としては、府内のキャラクターを集め、公園内、周辺遊歩道で、ゆるキャラ行列、握手会を行うほか、津々山台公園りぼんどおりで、フリーマーケットを開催。	
● 補助の目的	イベントの開催等により市の魅力発信を積極的に行い、もって交流人口等の増加とともに、地域の活性化を図る。	
● 補助の内容(要綱上の対象経費)	市の魅力発信に繋がるイベント実施費用のうち、委託料、印刷製本費等の経費の一部補助	
● 予算事業名称	とっぴーまつり開催事業 (事業番号 123456)	
● 予算費目	(款) ●●費 (項) ●●費 (目) ●●費 (節) 負担金、補助及び交付金 (細節) その他 (説明) とっぴーまつり開催事業	
● 予算残額	900,000 円 (※負担行為後金額)	
● 交付決定日	平成●●年5月30日 (交付申請日… 平成●●年5月6日)	
● 補助予定金額	110,000 円	
● 算出根拠	対象となる事業経費 $220,060 \times 1 / 2 = 110,030$ 円 (千円未満切り捨て) と上限15万円のどちらか少ない方。(要綱第●条関係)	
● 剰余金の有無	無 (繰越す場合の理由)	
● 支払予定(概算払いの有無)	①平成○年8月20日…5万円(イベント実施日に係る委託料の支払いのため支払い済) ②残額の6万円については、実績報告後金額確定後支払い予定	

領収書見本

見本	領収書
〇〇まつり実行委員会 様	申請者・団体名称になっていること。
<u>金、15、000円 也</u>	
但し、 <u>看板作製代金として</u> 上記、確かに領収いたしました。	購入物品、内容がわかるように記載されていること
日付があること。押印があること	平成22年11月1日 (有)富田林 商事
	富田林 有限会社 商事 印

補助事業履行確認報告書

(交付決定内容)

補助事業名称	とっぴーまつり開催事業
申請者 (団体名等)	とっぴーまつり実行委員会
事業内容	平成●●年11月3日、津々山台公園周辺でのとっぴーまつりの開催。(ゆるキャラ行列、フリーマーケットなどの実施。)
事業期間	平成●●年 6月10日 ~ 平成●●年11月30日
交付決定額	100,000円

(履行確認内容)

項目	確認項目	確認結果等	備考
補助金関係	交付申請	平成●●年5月6日	
	交付決定	平成●●年5月30日	
	変更申請	平成●●年7月3日	
	変更承認	平成●●年7月20日	交付決定額の変更 100,000円 ⇒ 110,000円
	事業施行状況報告書	平成●●年9月30日	
	事業完了日	平成●●年11月30日	
	履行確認日	平成●●年12月15日	交付申請年度の3月31日迄に 確認のこと
	確認結果	適・否	
特記事項	<p>事業期間が年度末まであり、実績報告の提出が4月になる場合でも、履行確認は3月31日までに行えるよう、申請者と調整してください。履行確認が年度内に行えない場合、その年度での補助金支出はできません。</p>		

上記のとおり確認したこと

平成 年 月 日

実績報告が次年度となる場合、
新年度の課長名としてください。

担当者：

所属長：

印

●補助金等交付基準適合チェック票

上段は、補助要綱上の対象事業の審査に使用します →【魅力発信事業】
 (この記載例では「市の魅力発信事業補助金交付要綱」と仮定しています。)

補助金 交付基準 第3条	内容	審査結果 ○:適合 ×:非適合	判断理由・根拠 (※全ての項目について、必ず具体的に記述すること。)
補助金 (要綱) の審査	(2)① 補助金等の支出が公益上必要であること。	○	市の魅力発信事業は、第4次総合計画の第2章第7節に寄与するものである。
	(2)② 補助事業の目的や内容等が社会経済状況の実情をふまえていること。	○	記載内容が伴えば、繋げて書いても構わない。 本市のモノ/や景観等の魅力発信する事業を促進することで、地域の活性化や交流人口を増加させることを目的とした補助金であり、市の現況・課題に即している。
	(2)③ 市民の福祉の向上や利益の増進に効果が認められること。	○	
	(2)④ 市と市民との役割分担において、市の補助事業として整合性が認められること。	○	事業者自身の利益に供する部分があるため、奨励的事業費補助と区分し、補助率を対象経費の1/2と設定している。
	(2)⑤ 単年度補助以外の補助金等の交付期間は、3年以内に見直すこと。	○	補助金そのものは5年目となるが、同一団体への継続補助ではなく、広く利用されている。
	(2)⑥ 目的が達成された補助事業や自立が認められる補助事業者については、交付期間内であっても補助金等を見直すこと。	○	市の人口が減少しているなかで、市の魅力発信は今後ますます求められる。
	(2)⑦ 国・府等の補助に伴う補助金等については、交付期間を国・府等の補助の期間に合わせること。	○	市の単独補助である。
	(2)⑧ 同一ないし類似目的の補助金等については、整理・統合を図ること。	○	本要綱の補助対象事業が、他の要綱の補助対象となっていることはない。
	(2)⑨ 補助事業者が個人である補助金等については、その交付に際して必要な場合は、所得要件等の制限を設けること。	○	本補助金は個人を対象としていない。

下段は、実際に実施される事業の審査に使用します →【とっぴーまつり開催事業】

補助事業 の審査	(1)① 行政目的に沿った事業であること。	○	とっぴーまつりは、ゆるきゃらを利用して多くの来場者を集め、その方々に市の民・工芸品や特産物の展示、販売等を行うことで、その魅力に触れる機会を創出し、地域経済の活性化に繋げるものであり、上記(2)①②③に合致している。
	(1)② 市全体の利益につながる事業であること。	○	
	(3)① 補助金等の支出が規則に基づいており、法令等に抵触していないこと。	○	富田林市補助金等交付規則に照らして、適正である。
	(3)② 補助事業者である団体等の会計処理及び使途が適切であること。	○	予算書、及び補助対象経費の抽出に問題はなかった。
	(3)③ 補助金等の額は、補助事業者である団体等の直近の決算における繰越金の額と比べて適正であること。	○	団体運営に係る補助金ではなく、また繰越金も発生していない。
	(3)④ 補助金等の額は、補助事業の規模や進捗状況に応じたものであること。	○	補助額(対象経費の1/2が上限)は適正である。

備考	
----	--

●補助金等交付基準適合チェック票

上段は、補助要綱上の対象事業の審査に使用します →【魅力発信事業】
(要綱の審査であるため、交付決定時と変える必要はない。)

補助金 交付基準 第3条	内容	審査結果 ○:適合 ×:非適合	判断理由・根拠 (※全ての項目について、必ず具体的に記述すること。)
補助金 (要綱) の審査	(2)① 補助金等の支出が公益上必要であること。	○	市の魅力発信事業は、第4次総合計画の第2章第7節に寄与するものである。
	(2)② 補助事業の目的や内容等が社会経済状況の実情をふまえていること。	○	本市のモノや景観等の魅力発信する事業を促進することで、地域の活性化や交流人口を増加させることを目的とした補助金であり、市の現況・課題に即している。
	(2)③ 市民の福祉の向上や利益の増進に効果が認められること。	○	
	(2)④ 市と市民との役割分担において、市の補助事業として整合性が認められること。	○	
	(2)⑤ 単年度補助以外の補助金等の交付期間は、3年以内に見直すこと。	○	補助金そのものは5年目となるが、同一団体への継続補助ではなく、広く利用されている。
	(2)⑥ 目的が達成された補助事業や自立が認められる補助事業者については、交付期間内であっても補助金等を見直すこと。	○	市の人口が減少しているなかで、市の魅力発信は今後ますます求められる。
	(2)⑦ 国・府等の補助に伴う補助金等については、交付期間を国・府等の補助の期間に合わずこと。	○	市の単独補助である。
	(2)⑧ 同一ないし類似目的の補助金等については、整理・統合を図ること。	○	本要綱の補助対象事業が、他の要綱の補助対象となっていることはない。
	(2)⑨ 補助事業者が個人である補助金等については、その交付に際して必要な場合は、所得要件等の制限を設けること。	○	本補助金は個人を対象としていない。

下段は、実際に実施される事業の審査に使用します →【とっぴーまつり開催事業】

補助事業 の審査	(1)① 行政目的に沿った事業であること。	○	とっぴーまつりは、ゆるきゃらを利用して多くの来場者を集め、その方々に市の民・工芸品や特産物の展示、販売等を行うことで、その魅力に触れる機会を創出し、地域経済の活性化に繋げるものであり、上記(2)①②③に合致している。
	(1)② 市全体の利益につながる事業であること。	○	
	(3)① 補助金等の支出が規則に基づいており、法令等に抵触していないこと。	○	
	(3)② 補助事業者である団体等の会計処理及び使途が適切であること。	○	決算書、及び補助対象経費の抽出に問題はなかった。
	(3)③ 補助金等の額は、補助事業者である団体等の直近の決算における繰越金の額と比べて適正であること。	○	団体運営に係る補助金ではなく、また繰越金も発生していない。
	(3)④ 補助金等の額は、補助事業の規模や進捗状況に応じたものであること。	○	補助額(対象経費の1/2が上限)は適正である。

備考	
----	--